



型とりマンの使用方法

硬化が速いのが特徴です。この説明書を一通りお読みになり、材料や備品、計量を全て整えた上で、作業を開始してください。

ジラフ
〒802-0022
北九州市小倉北区上富野 3-16-11
TEL : 070-5489-5749
http://www.giraffe-jp.com

*用意するもの

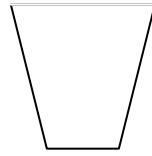
シェイク用容器

型とり材の1.5倍～2倍の容量で水が漏れない容器。



型とり容器

右の図のように上が広く下が狭い容器が使いやすいです。



注型材

(型をとり後注いで固める材料) ご使用の注型材の説明書をよくお読みの上ご使用下さい。

シェイク用容器と型とり用容器は、サイズと形状が合えば、兼ねることができます。

*作業手順 (1～4は共通です)

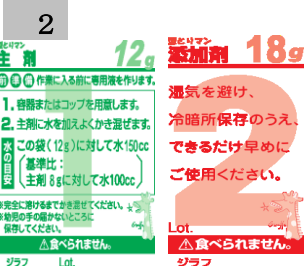
基本配合 Sタイプ:水 100gに対し主剤 8g・添加剤 12g Fタイプ:水 100gに対し主剤 8g・添加剤 14g



1. どれくらいの型とり材が要るか把握します。型とり材の代わりに水を型枠に入れ、対象物が浸る量に調整し、その水の量を、「必要な型とり材の量」として考えます。



3. 「主剤」と「水」をよく混ぜます。



2. 主剤 水 添加剤をそれぞれ計量します。セット商品を一回で使うときは、袋毎使います。



4. (手順3で作った)「液」に「添加剤」を入れ、大きく、上下に3回くらいシェイクします。
* 添加材の混合は、シェイク方法をお勧めします。

足型の場合

写真のような型枠を使った場合、片足につき、1500gの型とり材が必要で、500gずつ3セット用意しておきます。



5 型枠の中に足を入れ、500gの型とり材を注ぎます。手順4-5をあと2回繰り返します。



6 型枠から足をぬきます。



7 足をぬいた跡に石膏や樹脂を流して固めます。

手型の場合

赤ちゃんの場合は、硬化は速くなりますが、液を湯煎で人肌に温めた方が驚かせなくて良いです。



5 型枠に型とり材を注ぎ手を入れます。



6 型枠から手をぬきます。



7 手をぬいた跡に石膏や樹脂を流して固め、手型をつくりまします。

イチゴのキャンドルの場合

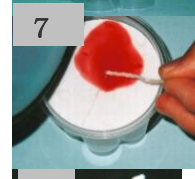
サザエの殻を型とっても、おもしろいです。



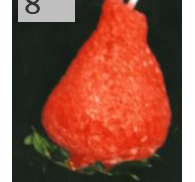
5 プリンカップに型とり材を注ぎます。



6 型とり材の中に楊枝をさしたイチゴを沈めます。



7 イチゴだけをとりだし型とり材に芯を通しプリンカップにもどします。



8 湯煎で溶かしたロウを流して固めます。(溶かしたロウ にアロマオイルを入れて香を楽しむのもいいですよ)

注型材に石膏をご使用の場合

出来上がった石膏は完全に硬化後、水で洗い乾燥させてください。水洗いが不完全だとカビが発生することがあります。その場合は、市販のカビとり剤で除去することができます。(カビとり剤の説明書をよくお読みの上ご使用下さい。)

< 注意事項 >

- ☆ 皮膚過敏症の方、また、湿疹や傷など皮膚に異常がある場合は、作業せずに返品してください。
- ☆ お子様単独での作業はお避けください。
- ☆ 液や粉が目に入らないようご注意ください。もし、入った場合は、水で洗い流し、それでも刺激感がとれない時は医師の診断を受けてください。
- ☆ 本品は食材ですが、食べたり、飲んだりできません。
- ☆ 使用するまでは冷暗所に保管してください。
- ☆ お子様の手の届かない所に保管してください。
- ☆ 人体の型とりの場合季節によって冷たく感じますので、体調の悪い方はご注意ください。
- ☆ 使用法は正しく守ってお使い下さい。
- ☆ 本品を使用することによって、その部位が損傷するなどの弊害が予想されるような場合は使用しないで下さい。
- ☆ 作った液は、冷蔵庫で保管し早めに使い切ってください。
- ☆ 湿気を帯びないように保存し、開封後は早めに使い切ってください。
- ☆ 作業環境(気候、温度)によって変化しますので、数値はあくまでも目安としてください。